



県独自の「緊急事態宣言」が出され、仙台市の「まん延防止等重点措置」が5月5日まで適用されるなど、まだまだ予断を許さない状況下ではありますが、着任式・始業式、入学式、ともに、無事に終了することができ、新たな1年がスタートしました。着任式・始業式はリモートとなりましたが、2、3年生は立派な態度で視聴していました。入学式の準備も、担当の場所を隅々まで掃除し、まさしく「凡事徹底」の意識が浸透していると感じました。入学式では、練習ができなかった状況ではありましたが、新入生の大きな返事、真剣に聞く姿勢がとても立派でした。それぞれの学年がとても良いスタートを切れたと思います。

今年度、南光台中学校は327名の生徒でのスタートとなります。生徒に寄り添い、生徒と共に成長する気持ちで教職員一丸となって努力してまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

始業式 式辞 校長 伊澤 正人

桜の花も満開となり、木々も花も虫たちも、春の日差しを喜んでいるかのような季節となりました。いよいよ新しい学年のスタートです。皆さん進級おめでとございます。

今日は、新しい担任の先生、新しい友達との出会いの日でもあります。つい1ヶ月前には、尊敬する先輩が卒業し、10日前にはお世話になった先生方が転任なされました。そうした別れがあれば新たな出会いもあります。これを繰り返しながら私たちは人とのつながりを広げていっているのですね。

進級するというのは、学年という階段を一つ登るということです。階段を一つ登れば、そこにはこれまでと違った風景が待っています。たとえば、毎日の勉強が少し難しくなる。委員会活動や部活動での役割や責任が少し重くなるなど、これまでの学習や生活のレベルが上がるということでもあります。そのためには、皆さんに「2年生や3年生になったんだ」という自覚と「よし、今年こそがんばるぞ」という覚悟が必要になりますね。

今日は一つ学年があがったはじめての日なので「**幸せ**」について話してみたいと思います。人間には、幸せな人と不幸な人がいます。誰もがみんな幸せになりたいはずなのに、どうして差がでるのでしょうか。幸せと不幸は運が良いとか悪いとかによって決まるものではありません。

たとえば、こんな話があります。

二人の靴屋さんが外国に靴を売りに行きました。その外国に着いてみると、その国の人は誰も靴を履いていません。靴屋の一人は「この国は誰も靴をはいていないから、この国では靴は売れない。残念だな」といい、もう一人の靴屋さんは「この国は誰も靴を履いていないから、たくさん靴が売れる。ラッキーだな」と言いました。皆さんがお分かりの通り、まだ一足も靴を売っていないうちに「残念だな」と言う不幸な人と「ラッキーだな」という幸せな人に分かれてしまいますね。

皆さんの中にも、あれは嫌だ・これは嫌いだ・あいつが悪い・先生が悪いなど文句をたくさん言っている人はいませんか。そういう人は毎日がつまらないことばかりで、いわゆる不幸な人でしょうか。逆にあれも良い・これも良い・この人のおかげなどと良いことをたくさん見つけられる人は、毎日が楽しいことばかりですね。楽しいことばかりの人は幸せの人でしょうか。幸せな人になる方法はわかりましたか。自分の周りの良いところをたくさん見つけることができる人が幸せの人なのです。

今日から学年が一つ上がりますね。「勉強が難しくなるから心配」「新しい友達ができるから心配」という心の使い方をしている人はいませんか。「もっとたくさんを知ることができるから勉強が楽しみ」「新しい友達が増えるから楽しみ」という心の使い方をする人が幸せになれる人ですね。幸せになるかどうかは、自分で決めるのです。

新しい学年のスタートにあたり、幸せになれるように、この一年間「何を頑張るのか」「何を目指すのか」という自分の目標を具体的にもってください。そして、その目標に向けて「何をすべきか」まで、考えることが大切です。この1年のみんなの成長を期待しています。

凡事徹底 ～ひとりでもできる みんなでもできる～

礼を正し 場を淨め 刻を守る

今年度も凡事徹底の更なるレベルアップを図ります。「礼を正し、場を淨め、刻を守る」ことを昨年度以上に徹底できる力や態度は、私たちの学校生活だけでなく、社会生活においてもとても重要なことだと思います。

具体的に、次のような事柄を学校では「凡事」とし、その徹底に生徒と教職員が一体となって励みます。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ① 明るく、はっきりとした声でのあいさつ（礼） | ④ 身辺の整理整頓（場） |
| ② 清潔感のある身だしなみ（礼） | ⑤ 相手のことを考えた清掃（場） |
| ③ 相手の心に届く言葉遣い（礼） | ⑥ 一つ先を考えた行動（刻） |

これをもとに、

- ・ひとりひとりが自分でできることを見つけ、自分の意志と責任の下にしっかり取り組むこと（自律）
- ・仲間や身の回りの人とのつながりに気づき、それを大切にして物事に取り組むこと（協働）

が、「ひとりでもできる みんなでもできる」です。小さな積み重ねをおろそかにせず、自分と仲間を大切にして、今年度も更なる高みを目指していきます。

昨年度から、協働型学校評価の究極目標と目指す生徒の姿を以下のように設定しています。生徒の挨拶と地域貢献に焦点化したものになっています。南光台小学校との話し合いを重ね、小中がこれまで以上に連携を深め、9年間を見通した子どもの育成を図ります。

令和3年度 協働型学校評価究極目標：人との関わりを大切にし、たくましく生きる子ども

協働型学校評価で目指す具体的な生徒の姿

「家庭・地域・学校で、心を込めた挨拶を交わせる生徒」



「学校行事やボランティア活動を通して、地域に笑顔を届けることができる生徒」

感染拡大の予防について

前に挙げたように、感染の状況は、まだまだ予断を許さない状況です。南光台中学校では、昨年同様、「マスクの着用」「換気・手洗い・消毒の徹底」「検温表の提出」「健康観察」等の対策を充実させていく方針です。

「身近な方の感染が確認された場合」「ご家庭や職場等で感染された方がいる場合」の対応について

- ①保健所や医療機関の指示に従ってください
- ②学校にご連絡ください。教頭が窓口となり、対応をさせていただきます。

※ご連絡いただいた内容については、プライバシーに最大限配慮し、対応します。

登校の判断に関しては、以下の表を参考にしてください

①感染した場合 ②濃厚接触者となった場合 ③37.5℃以上の発熱	・身近な人が感染した場合 ・身近な人が濃厚接触者となった場合	・原因の特定できない微熱や体調不良がある場合 ・感染に対する不安や心配が強い場合	→	・「出席停止」となり、欠席扱いとはなりません。
↓	↓	↓		
登校できません。 ①、②の場合は保健所等の指示に従ってください。 ③の場合、医療機関での受診をお願いします。	保健所等の判断が「問題なし」となれば登校可。出欠席はご家庭の判断となります。無理せずお休みいただいても問題ありません。	・基本的には無理せず自宅で療養することを勧めています。		※疲労や睡眠不足等、原因が特定できる体調不良は、欠席扱いとなります。